



安政度内裏 紫宸殿(京都御所) 江戸時代 宮内庁京都事務所



梨子地蒔絵螺鈿二階厨子 桐竹文(清涼殿調度) 江戸時代 宮内庁京都事務所



青色御袍(孝明天皇御料) 江戸時代 平安神宮

宮廷物質文化史

猪熊兼樹(東京国立博物館)著

古代中国に端を発し東アジア圏に影響を及ぼした礼制は、どのように日本の社会や習俗に適應し、独特の宮廷様式を發達させたのか。

本書は、「有職」と称される知識体系によって伝承された前近代の日本の宮廷様式について、宮殿・調度品・装束を対象とし、それら物質に現れる形式・意匠・技法の造形様式とその背景にある社会・制度・習俗の生活様式を、「物質文化史研究」の手法を用いて考察する。

日本の宮廷における物質文化の歴史を説き起こす、画期的論考。

本体価一五、〇〇〇円 + 税

A5判上製函入

カラー口絵一六頁

本文三八四頁 挿図二四八点

ISBN978-4-8055-0768-1 C3070

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-10-1
IVYビル6階
電話 03-5577-4797 FAX 03-5577-4798
<http://www.chukobi.co.jp/>

お取り扱い

本書で説く宮廷物質文化とは、前近代の日本の宮廷で用いられた殿舎・調度・服飾などを指す。これらの対象は建築史・美術史・工芸史などの学問分野において論じられてきたものであるが、ここに殊更に物質文化という語を用いるのは、それら諸学と同様な対象を扱いつつも、本書では物質に現出する形式・意匠・技法などの造形様式に限らず、物質の背景にある社会・制度・習俗などの生活様式に思考を及ぼそうとする意図による。(中略)

宮廷礼法の要訣は身分秩序の維持にあり、その秩序は宮廷人の官職・位階・家流などによって正され、殿舎・調度・服飾などを用いた宮廷行事の実践を通じて具現された。即ち宮廷における建築・器物・衣服は、単に衣食住の生活を充たす用具であるばかりでなく、その形式や意匠によって宮廷人の身分地位や宮廷行事の状態などを表象する社会的機能を有した物質文化であったこと、またそれらの物質文化によって宮廷様式が形成されていたことは留意すべきである。このように物質文化を用いて社会構成員の差別や儀式行事の状態を表象する行為は、世界的に見受けられる普遍的現象ではあるが、とりわけ古代中国で発達した礼制における顕著な現象であった。礼制などという理念的な形而上の問題のようであるが、礼制の理念とは身分秩序の具現であれば、生活様式に言及する傾向が著しい。その礼制の理念に基づいた朝廷という政治体制は中国の歴代王朝に継承されたばかりでなく、日本列島・朝鮮半島・越南地域・琉球諸島などにも普及した普遍的政体であれば、中国の宮廷様式は東アジア各地の宮廷にも影響を及ぼしたのである。日本の宮廷では朝廷の確立や令制の継受を通じて礼制の理念を受容し、その理念を具現する舞台や装置として殿舎・調度・服飾といった物質文化を整備し、日本の社会や習俗に適合した宮廷様式を發達させて、それを有職によって伝承したのであった。従って、大局的な見方をすれば、有職とは礼制の一種であったとも言える。果して、そのように宮廷様式を捉えるとしても、その内容は多岐に亘れば、本書では前述の趣旨を踏まえて宮廷様式を祭祀系・朝賀系・公事系に分類した。(中略) 本書は、以上のような関心を払いながら、日本の宮廷における物質文化の歴史を叙述するものである。

〔序〕より

● 本書をお薦めする方々

- 工芸史、日本建築史、住宅建築史、服飾(意匠)史、風俗史、
- 有職故実、日本中世・近世史、東アジア史などの研究者・研究室
- 美術館・博物館学芸員
- 大学・公共図書館

目次

序

一 礼制と物質文化

二 有職

聖徳太子／律令／国史／故実／朝廷と幕府／宮廷人／朝儀再興／明治維新

三 祭祀系

天神地祇／神祇官／清次／大嘗祭／大嘗宮／齋服／寿詞奏上・神器献上

四 朝賀系

文物之儀／平安宮／朝賀／即位礼／大極殿裝飾／礼服

五 公事系

小朝拜／年中行事／内裏／室礼／朝服／男装／女装／輿車・馬具／御表・御内儀

付 雅楽系・凶事系

雅楽系／凶事系

結

後記・謝辞／図版提供および出典一覧／英文梗概

著者略歴

猪熊兼樹 (いのくま・かねぎ)

一九七三年 京都市出身

学位 文学修士 (関西学院大学大学院)

現職 東京国立博物館学芸企画部主任研究員

九州国立博物館研究員、東京国立博物館研究員、文化庁文化財調査官を経て現職に至る。

著書に「有職文様」(日本の美術第五〇九号、至文堂二〇〇八年)、

「王朝のかたち」(共著・淡交社二〇一二年)。

関連書籍

源氏物語

その生活と文化

日向一雅 著

本体価 12,000円+税

A5判上製函入 本文 340頁 挿図 68点

ISBN 978-4-8055-0462-8

2004年2月刊行

近世・近代の歴史意識と建築

加藤悠希 著

本体価 11,000円+税

A5判上製函入 本文 320頁 挿図 34点

ISBN 978-4-8055-0729-2

2015年1月刊行